

第7章 道路植栽工事

第1節 適用

1. 本章は、舗装工事（道路植栽工）、道路修繕工事及び道路維持工事における各工種について適用するものとする。
2. 本章に特に定めのない事項については、工事請負共通仕様書(共通)[公園緑化土木工事]第2章工事材料及び 第I編公園緑化土木の当該項目の規定によるものとする。

第2節 適用すべき諸基準

受注者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。

ただし、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督職員に確認をもとめなければならない。

なお、各基準類に改訂等がある場合は、最も新しいものによること。

日本公園緑地協会 都市公園技術標準解説書（平成25年度版）（平成25年 6月）

日本緑化センター 公共用緑化樹木等品質寸法規格基準（案）の解説（第5次改訂）
（平成21年 2月）

日本道路協会 道路土工要綱（平成21年 7月）

日本道路協会 道路緑化技術基準・同解説、第4章設計・施工（昭和63年12月）

第3節 枯補償

本編 第3章第3節「枯補償」の規定によるものとする。

第4節 舗装工事：道路植栽工(道路植栽工)

公-1-7-4-1 一般事項

本節は、道路付属施設工として道路植栽工、その他これらに類する工種について定めるものとする。

公-1-7-4-2 材料

本節で使用する材料は、各項に記載のない場合、本編 第3章「植栽工」の規定によるものとする。

公-1-7-4-3 植樹帯盛土

植樹帯盛土は、設計図書によるものとする。

公-1-7-4-4 植樹

1. 受注者は街路樹の植栽にあたっては、下記の事項に基づき施工しなければならない。
 - (1) 植栽は原則として第3章植栽工の規定と併せて、次の(2)、(3)に基づき施工しなければならない。
 - (2) 植穴は植栽当日に施工することを原則とするが、やむを得ず植え付けが後日になる場合は、最小限の範囲として監督職員の承諾を得るとともに、昼夜間を含む安全対策を施し、できるだけ速やかに植栽を終えなければならない。
 - (3) 街路樹植付けの仕上げ高さは監督職員の指示によるものとし、原則として水鉢は設けないものとする。

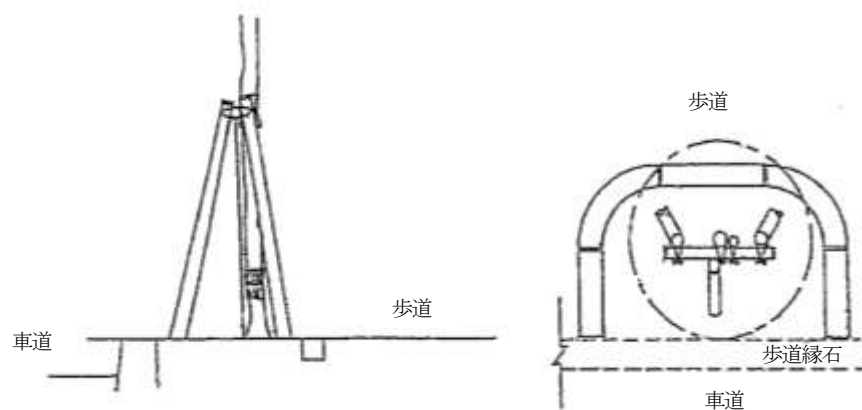
公-1-7-4-5 地被類植え付け

受注者は張芝並びに地被類植付けについては、第3章植栽工の規定によらなければならない。

公-1-7-4-6 支柱設置

1. 受注者は、支柱設置については、第3章植栽工第4節公-1-3-4-3 樹木植栽第10項の規定によらなければならない。

なお、支柱の設置方向は監督職員と協議することとし、番線の結束場所は歩行者の通行側の反対側としなければならない。
2. 街路植栽工事における、二、三本鳥居型支柱(A)・(B)の設置について図1-7-1のとおりとする。



※(1) 二、三本鳥居型支柱(B)は、添木共とする。

(2) 丸太を番線で結束する際は、表面の引っ掛かりがないように端部を叩き込むこと。

図1-7-1 二、三本鳥居型支柱(A)・(B)設置図

公-1-7-4-7 樹名板工

1. 受注者は、樹名板取付けについては、原則として第3章植栽工第4節樹名板工公-1-3-4-8 樹名板工の規定によらなければならない。
2. 樹名板の取付け枚数は設計図書によることとし、設置場所及び表示面の方向は監督職員の承諾を得なければならない。
 なお、樹名板の設置は概ね表1-7-1を標準とする。

表1-7-1 樹木名札の設置基準（参考）

区分	設置基準
高木	1 樹種 5 本ごとに 1 枚ずつ
低木	1 樹種 50m ごとに左右両側各 1 枚ずつ
地被	連続植樹帯は 1 樹種 50m ごとに左右両側各 1 枚ずつ 単独樹は同樹種について 5ヶ所に 1 枚 (5ヶ所未満は 1 枚) とする

公-1-7-4-8 マルチング材敷均し

1. 受注者は、樹木植付け後、マルチング材を厚さ 5 cm に均一に敷均さなければならない。
2. 受注者は、街路樹のマルチングには難燃性加工を施したマルチ材（バーク又はチップ）を使用することとし、予め監督職員の承諾を得なければならない。
3. マルチングの数量は、第3章植栽工第4節植栽工公-1-3-4-7 樹木養生工の表1-3-4に加え、単独樹については、表1-7-2に基づき施工しなければならない。

表1-7-2 マルチング数量表 高木（街路単独樹用） 1 本当たり

形 式	B-1	B-2	B-3
ℓ	45.0	75.0	90.0
備考(単独樹タイプ)	I 型	II 型	III 型

4. マルチングを行う場合の客土仕上げ高は、原則として植樹樹縁石天端より 5 cm 下がりまでとする。

公-1-7-4-9 作業残土処理工

1. 受注者は作業残土の処理については、第1章第3節共通の工種公-1-1-3-3 公園土工第2項(6)残土処理工の規定によらなければならない。

第5節 道路修繕工事：道路付属施設工（道路植栽工）

本節における工種の施工は、第4節「舗装工事：道路付属施設工（道路植栽工）」の規定によるものとする

第6節 道路維持工事：植栽維持工（樹木・芝生管理工）

公-1-7-6-1 一般事項

1. 本節は、植栽維持工として樹木・芝生管理工に関する工種について定めるものとする。
2. 各作業にて収集した落葉及び草等は、現場内に放置することなく、監督職員の指示する場所に速やかに運搬するものとする。
3. 運搬に際しては、荷台の確認できる写真を撮影した後、車両の積載部分を必ずシートで覆い、積荷が飛散しないように運搬するものとする。

公-1-7-6-2 材料

本節で使用する材料は、第3章植栽工の規定によるものとする。

公-1-7-6-3 樹木剪定

受注者は、樹木剪定については、第3章植栽工第6節樹木整枝工の規定によらなければならない。

公-1-7-6-4 寄植剪定

受注者は、寄植剪定については、第3章植栽工第6節樹木整枝工の規定によらなければならない。

公-1-7-6-5 地被刈込（芝刈）

1. 受注者は、地被刈込は、機械又は手刈りにより行うが、刈込は均一に、刈り残しのないよう、また樹木等を損傷しないよう丁寧に行わなければならない。
2. 受注者は、地被刈込の作業時期については、監督職員の指示によらなければならない。
3. 受注者は、縁切りの作業にあたっては、下記の規定によらなければならない。
 - (1) 構造物等に接する境界部分は、縁切りを行うこととする。
 - (2) 他の地被、低木等に接する部分については、芝等のほふく茎や地下茎に侵害されないよう、その部分で芝等の縁切りを行うとともに、剪除した茎葉は速やかに処分すること。
 - (3) 樹冠下部及び低木等の植込み内に侵入した芝等は、取除くこと。
4. 受注者は、刈り取った屑は、芝生上に残さないように袋詰めにし、監督職員の指示する場所に搬入しなければならない。

公-1-7-6-6 除草

1. 受注者は、抜根除草の作業にあたっては、下記の事項によらなければならない。
 - (1) 抜根除草は、植込地、植樹内の雑草類を、根（根株）を残さないように抜き取るものである。
 - (2) 作業中は、樹木類（地被等を含む）を傷めないように十分注意しながら行い、その抜き跡は凹凸のないように付近の土で埋戻しを行わなければならない。
 - (3) 抜き取った雑草類は、袋詰めにし、監督職員の**指示**する場所に搬入しなければならない。
 - (4) 運搬に際しては、積荷の確認できる写真を撮影した後、車両の積載部部分を必ずシートで覆い、荷物が飛散しないように運搬すること。
2. 受注者は、草刈りの作業にあたっては、下記の事項によらなければならない。
 - (1) 草刈りは、植込地、植樹等に繁茂している雑草類を、かま、その他の用具を用いて、地際より丁寧に刈り取るものである。
 - (2) 作業にあたっては、樹木類に傷をつけないよう十分に注意するとともに、人・動物、車両等に損傷を与えないよう作業場所周辺の安全確保及び危険防止の対策を講じなければならない。
特に、動力草刈機を用いる時は、周囲の安全を**確認**するとともに、刈りくず、異物等が周辺に飛散しないよう十分注意しなければならない。
 - (3) 刈り取った雑草類の処分は、袋詰めにし、監督職員の**指示**する場所に搬入することとする。
 - (4) 受注者は、道路除草の施工については、路面への草等の飛散防止に努めるものとし、刈り取った草等を交通に支障のないように、速やかに処理しなければならない。
 - (5) 運搬に際しては、積荷の確認できる差伸を撮影した後、車両の積載部部分を必ずシートで覆い、荷物が飛散しないように運搬すること。

公-1-7-6-7 補植

1. 受注者は、街路樹の補植にあたっては、以下の事項に基づき施工しなければならない。
 - (1) 補植は原則として第4節舗装工事：道路植栽工公-1-7-4-4植樹の規定によるとともに、併せて次の(2)に基づき施工しなければならない。
 - (2) 補植にあたって既存植樹樹の土の高さを調査し状況に応じて植栽後、土面の仕上がり高さが植樹樹縁石天端より5cm下りになるよう、植樹樹内の土砂をすき取らなければならない。
ただし、すき取りはできる限り植栽の直前となるよう努め、植栽までの間は昼夜間を含む安全対策を施し、速やかに植栽を終えなければならない。

公-1-7-6-8 支柱

1. 支柱の設置にあたっては、第4節舗装工事：道路植栽工公-1-7-4-6支柱設置の規定によるものとする。

2. 受注者は、既存樹木における支柱の撤去にあたっては、次の事項によらなければならない。

(1) 支柱を撤去する場所、時期及び交換の有無は、監督職員の**指示**による。なお、交換の**指示**を受けた場合の支柱設置については、第4節舗装工事：道路植栽工公-1-7-4-6 支柱設置の規定による。

(2) 撤去した支柱等は、第1章一般施工第8節構造物撤去工公-1-1-8-8 運搬処理工の規定に基づき適正に処分しなければならない。

公-1-7-6-9 施肥

受注者は、施肥については第3章植栽工第7節樹木保全工公-1-3-7-4 樹木地被育成工第3項の規定によらなければならない。

公-1-7-6-10 灌水

受注者は、灌水については、第3章植栽工第7節樹木保全工公-1-3-7-4 樹木地被育成工第1項の規定によらなければならない。

公-1-7-6-11 防除

受注者は、害虫防除については、第3章植栽工第7節樹木保全工公-1-3-7-5 防除の規定によらなければならない。

公-1-7-6-12 移植

受注者は、移植については、第3章植栽工第5節移植工の規定によらなければならない。

公-1-7-6-13 樹勢調査、巡視点検

受注者は、樹勢調査並びに巡視点検については、第3章植栽工第7節樹木保全工公-1-3-7-2 樹木調査工の規定によらなければならない。

公-1-7-6-14 樹勢回復

受注者は、樹勢回復並びに樹木修復については、第3章植栽工第6節樹木整姿工公-1-3-6-5 樹勢回復工の規定によらなければならない。

公-1-7-6-15 樹木撤去（高木伐採、中低木伐採、枯損木処理）

1. 受注者は、樹木撤去にあたっては、下記の事項によらなければならない。

(1) 作業にあたっては、事前に実施個所の埋設関係を十分**調査・確認**のうえで作業を行うものとする。

- (2) 樹木掘り上げに際しては、根を残さないように特に注意して施工しなければならない。また、街路樹の場合は植樹縁石、歩道縁石、舗装等を損傷しないように注意すること。万一損傷を与える可能性がある場合は、事前に監督職員と協議すること。
- (3) 掘り上げ完了後、掘り穴は直ちに危険防止のため、設計図書に記載に基づき現場発土及び山土にて埋め戻さなければならない。設計図書に記載のない場合は、監督職員の指示を受けなければならない。なお、埋戻し後の地盤高さ及び締固めの方法については、監督職員の指示によるものとする。
- (4) 撤去樹木及び支柱は、第3章植栽工第6節樹木整姿工公-1-3-6-6 剪定枝・刈込枝等の処分並びに本節公-1-7-6-8 支柱の規定により、速やかに運搬処分しなければならない。
- なお、生木を現場で切断しなければならない場合は、その方法について監督職員の指示により施工しなければならない。

公-1-7-6-16 障害樹処理

1. 受注者は、障害樹処理については、第3章第8節環境保全工公-1-3-8-2 障害樹処理の規定によらなければならない。
2. 受注者は、根上りにおける根切り作業にあたっては、下記の事項によらなければならない。
- (1) 作業は、本市所管の街路樹の根により、歩道上の舗装面の隆起や亀裂等が発生し、通行の支障となっている場所を、舗装撤去→根切り→仮復旧という手順で作業を行い、歩道面の安全確保をはかるものである。
- (2) 作業にあたっては、監督職員の指示に従い実施箇所、実施範囲、実施内容を十分確認のうえ作業を行うものとし、作業に必要な材料、道具等は事前に準備しておかななければならない。
- なお、常温アスファルト合材を用いた仮復旧を行う場合、埋戻し土を十分に締め固めた後、常温アスファルト合材を敷均し後、タンパ（60～100kg）により転圧を行うものとする。
- (3) 道路管理者との共同作業にあつては、監督職員の指示に従い、連携を取りながら実施すること。

公-1-7-6-17 落葉除去

1. 受注者は落葉除去の作業にあたっては、下記の事項によらなければならない。
- (1) 落葉除去は、本市所管内の街路を対象とし、枝葉の除去等、落葉に関する諸作業を行うもので、監督職員の指示に基づき、速やかに着手し、効率的な作業を行わなければならない。
- (2) 作業は、緊急を要する場合があるので、本市の要請に対して速やかに対処できるよう常に作業体制を整えておかななければならない。また、施工にあたり監督職員と十分協議のうえ作業に着手すること。
- (3) 作業に伴い発生した枝葉等は、本市指定地へ速やかに運搬処分することを原則とする。

(4) 作業終了後には、当日の作業内容、作業時間等を監督職員に報告し、確認を受けなければならない。

公-1-7-6-18 土砂すきとり

1. 受注者は、植樹内土砂すき取りの作業にあたっては、下記の事項によらなければならない。
 - (1) 土砂すき取りは、植樹内に堆積した土砂をすき取り、処分するもので、作業の時期及び場所は監督職員の指示によるものとする。
 - (2) 土砂すき取りは、樹根及び植樹を損傷しないように注意し、植栽樹からこぼれた出た土は清掃しなければならない。
 - (3) 土砂すき取りの仕上げ面は、原則として天端より5cm下がりを目安とする。
 - (4) 作業にあたっては、人・動物、車両等に損傷を与えぬよう安全確保に注意して行わなければならない。
 - (5) 土砂の処分は、監督職員の指示によるものとする。

公-1-7-6-19 作業残土処理

受注者は作業残土の処理については、第1章一般施工第3節共通的工種公-1-1-3-3公園土工第2項(6)残土処理の規定によらなければならない。

公-1-7-6-20 植樹帯清掃

1. 受注者は、清掃の作業にあたっては、下記の事項によらなければならない。
 - (1) 清掃は、植込地、植樹部分に堆積または投棄された塵埃、瓦礫類を除去収集するものである。
 - (2) 作業中は、樹木類（地被等を含む）を傷つけないよう十分に注意するとともに、安全確保及び危険防止の対策を講じなければならない。
 - (3) 収集された塵埃、瓦礫類の処分は、監督職員の指示によるものとする。

公-1-7-6-21 発生木材処分

受注者は、発生木材処分については、第3章植栽工第6節樹木整姿工公-1-3-6-6剪定枝・刈込枝等の処分並びに本節公-1-7-6-8支柱の規定によらなければならない。

公-1-7-6-22 舗装復旧

1. 受注者は作業にあたっては、監督職員の指示に従い実施箇所、実施範囲、実施内容を十分確認のうえ作業を行わなければならない。
2. 受注者は、作業に必要な材料、道具等は事前に準備しておかななければならない。
3. 受注者は、仮復旧については、埋戻し土を十分に締め固めた後、常温アスファルト合材を敷均し後、タンパ（60～100kg）により転圧を行わなければならない。